

## 多摩ニュータウン環境組合処理区域の拡大について

### 1 背景・現状

- 多摩清掃工場は、稼動した当初から処理区域内の人口・ごみ量とも計画を大きく下回っています。
- 各構成市（多摩市、八王子市、町田市）において、ごみの減量・資源化が進み、搬入するごみ量が減少しています。
- 2022年度には、年間のごみ量（焼却量）が八王子市の現在の拡大区域終了により約46,000tまで減少し、効率的な運転が難しくなると予測しています。
- 多摩清掃工場は、1998（平成10）年に稼動を開始しており、施設の更新の目安を2032年から2033年頃としています。

### 2 内容

- 多摩清掃工場の機能を著しく損なうことがないよう、効率的な運転に最低限必要なごみ量「54,000t/年」に不足する量「8,000t/年以上」について、八王子市と町田市の処理区域を拡大し、搬入するごみ量を増やすことで、効率的な運転を目指します。
- 拡大区域は可燃ごみ4,000t/年以上の区域とし、大蔵町、真光寺、真光寺町、広袴、広袴町、鶴川団地を予定しています。
- 搬入するごみ種及びごみ量は、搬入開始時点で家庭系可燃ごみ約3,500t/年、事業系可燃ごみ約1,000t/年、家庭系不燃ごみ約300t/年と見込んでいます。
- ごみの搬入を開始する時期は、2022年4月を予定しています。

### 3 住民説明会について

多摩清掃工場の周辺住民に対し、処理区域再編の検討状況に関する説明会を実施します。

日時：2019年2月1日（金）18：30～

2日（土）10：00～

場所：多摩ニュータウン環境組合管理棟2階 201会議室